

禁煙治療推進 県助成PRを

企業側と知事意見交換



県の支援制度について伊原木知事（手前）と意見交換する徳山部長（左奥）と西井院長

禁煙週間（6日まで）に合わせ、禁煙対策に

取り組む企業との関係者が1日、県庁を訪れ、伊原木隆太知事と禁煙治療を後押しする県の支援制度について意見交換した。

県は昨年度、医療機関の禁煙外来を受診した従業員の治療費を補助した企業や団体を対象とする助成制度を導入。1人1万円を上限に半額を支給する。

県庁を訪ねた徳山電機製作所（岡山市）の徳山ひろみ管理部長は、制度の活用とともに禁煙に成功した従業員にネクタイを贈る独自の取り組みを紹介。「助成は禁

煙をサポートする良い制度。もっとPRを」と要望した。

同席した県健康づくり財団付属病院（同市）の西井研治院長は、治療費が1万5千円程度かかることから「企業や県が軽減することで若い世代の禁煙につながる」と指摘した。伊原木知事は「制度をより周知し、禁煙に取り組む企業を増やしたい」と述べた。

（渡辺誠）

禁煙週間

「お得」訴え、喫煙者減

岡山の企業 知事へ取り組み報告

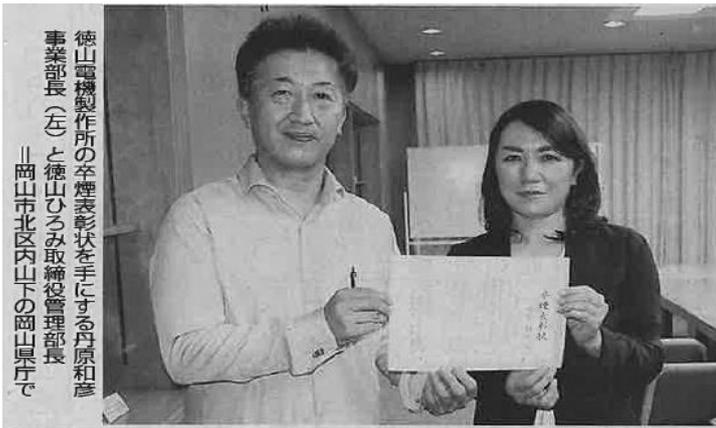
厚生労働省が定める「禁煙週間」（5月31日～6日）に合わせ、10年ほど従業員の禁煙対策に取り組んできた岡山市東区の配電盤総合メーカー「徳山電機製作所」の徳山ひろみ取締役管理部長（51）らが1日、岡山県庁を訪れ、伊原木隆太知事と意見交換した。

2021年度は県の禁煙治療費助成事業支

援金を活用。30年以上の喫煙者だった丹原和彦事業部長（54）が禁煙外来に通って卒煙に成功した。「吸いたくなる時もあったが、

約束した以上、うそはつけないと思った。割とスムーズに禁煙できた」と体験談を語った。

【堤浩一郎】



徳山電機製作所の卒煙表彰状を手にする丹原和彦事業部長（左）と徳山ひろみ取締役管理部長
――岡山市北区内山下の岡山県庁で